

平成30年度

大分大学医学部医学科学  
第2年次編入学  
学生募集要項

出願期間：平成29年8月21日(月)～8月25日(金)

第2次選抜試験：平成29年10月20日(金)

第3次選抜試験：平成29年11月21日(火)

第3次選抜結果(最終発表)：平成29年12月1日(金)

平成29年6月



# 目 次

	ページ
大分大学 入学者受け入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）	2
大分大学医学部 入学者受け入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）	3
I 学生募集要項	
1. 目 的	5
2. 募集人員	5
3. 出願資格	5
4. 編入学時期及び編入学年次	5
5. 出願期間	6
6. 出願に必要な書類等	6
(1) 出願書類等	6
(2) 出願に際しての注意事項	7
(3) 出願書類等の提出先	8
(4) 入学検定料の返還請求	8
7. 個人情報の取扱い	8
8. 障がいのある者等の事前相談	8
9. 熊本地震により被災した者、又は熊本地震により転学等をした者の 事前相談	8
10. 東日本大震災により被災した者、又は東日本大震災や 福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談	9
11. 入学者選抜方法	9
12. 受験に際しての注意事項	10
13. 大分大学位置図	10
14. 不正行為の取扱い	11
15. 選抜結果の発表及び通知	12
16. 入学手続	12
17. 欠員の補充	13
18. 入学試験個人成績の開示	13
19. その他	13
II 入学案内	14

# 大分大学 入学者受け入れの方針（A P：アドミッション・ポリシー）

## 基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

## 教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を習得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

## 求める学生像

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 論理的に考え、文章や口頭で他者に伝えることができる人
3. 知識を組み合わせ活用したり、多面的な観点から物事を考えたりすることができる人
4. 思いやりの心をもち、他者と協力して行動することができる人
5. 地域社会や国際社会に貢献しようとする意欲をもっている人
6. 知的好奇心や主体的に学ぶ意欲をもって、目的に向かって努力できる人

# 大分大学医学部 入学者受け入れの方針(A P : アドミッション・ポリシー)

## 基本理念

医と看護に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学及び看護学の知識並びに技術、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、更には医学、看護学研究者を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

## 教育の目標

〈医学科〉

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

〈看護学科〉

(略)

## 求める学生像

〈医学科〉

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた慈愛の心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を習得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

〈看護学科〉

(略)

## 入学者選抜の基本方針

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では一般入試とアドミッション・オフィス入試を、看護学科では一般入試と推薦入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、医学科では医学以外の大学在学者・卒業者を対象に2年次編入学を、看護学科では社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業生等を対象とした3年次編入学を実施しています。

各選抜試験で重視する観点〈医学科〉

(略)

各選抜試験で重視する観点〈看護学科〉

(略)

・一般入試

《医学科前期日程》

(略)

《看護学科前期日程・後期日程》

(略)

・アドミッション・オフィス入試 (AO入試)

《医学科》

- (略)
- ・推薦入試  
《看護学科》  
(略)
- ・社会人入試  
《看護学科》  
(略)
- ・2年次編入学  
《医学科》

2年次編入学では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する多様な人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施しています。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れた集団面接を行います。

- ・3年次編入学  
《看護学科》  
(略)

# I 学生募集要項

## 1. 目的

今日、わが国の医学・医療は少子高齢化、高度情報化社会への適切な対応、そして、脳死、臓器移植、体外受精、遺伝子治療などに対する高い倫理観が求められる一方、基礎医学と先端的医療の推進、地球的規模での医学・医療協力への貢献など、さまざまな分野で変革が求められています。

このように大きく変化する医療環境の中、これからの医療人には、幅広い人間性、人間への深い洞察力、高い倫理観、コミュニケーション能力、より高い問題解決能力、そして生涯学習意欲が求められています。

そこで、大分大学医学部医学科では、医学部医学科を除く修業年限4年以上の大学において、平成30年3月31日までに2年以上在学し、62単位以上修得した者又は修得見込みの者若しくは医学以外の学問を修めた大学卒業で、上記の資質を備え、かつ、明確な問題意識を持って改めて医学を目指す方に、編入学の道を開くことによって、多様な人材を学生として迎え入れたいと考えています。

そして、単に臨床医を志向するだけでなく、臨床研究又は、生命科学、予防医学分野の研究を積極的に志向し、国際医療協力を携わるような国際性を備えた医師や研究者を育成することを目的としています。そのため、入学後は希望する講座等\*に所属し、修学・研究上の指導を受けることが望まれます。

※講座等の概要については、本学医学部ホームページ掲載の医学部・附属病院概要  
<http://www.med.oita-u.ac.jp/campus/gaiyo.pdf> を参照してください。

## 2. 募集人員

医学部医学科 10名

## 3. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。ただし、医学部医学科の卒業生（退学者及び除籍者を含む。）及び在籍者は出願できません。

- (1) 修業年限4年以上の大学において、平成30年3月31日までに2年以上在学し、62単位以上修得した者又は修得見込みの者
- (2) 修業年限4年以上の大学を卒業した者（学校教育法第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者を含む。）又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者

## 4. 編入学時期及び編入学年次

平成30年4月に2年次に編入学します。

## 5. 出願期間

平成29年8月21日（月）～8月25日（金） 17時まで（必着）

原則として出願は郵送とします。必ず本要項に添付されている封筒を用い、速達書留で郵送してください。


ただし、郵送が出願期間に間に合わない場合は、8月25日（金）に限り持参を認めます。

（受付時間は、9時から17時まで）

【注】出願期間後に到着した出願書類は受理しませんので、郵便事情を十分考慮して早めに発送してください。

## 6. 出願に必要な書類等

### （1）出願書類等

書 類 等	摘 要
入 学 志 願 書 受 験 票 ・ 写 真 票	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。
入学検定料振替払込 受付証明書等 (30,000円)	<p>平成29年7月3日（月）以降に以下のいずれかの方法により、本学指定口座に振込んでください。</p> <p>①金融機関（郵便局を含む）での振込            本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口で振込手続きを行ってください（ATM不可）。</p> <p>②コンビニエンスストアでの振込            本学ホームページ（<a href="http://www.oita-u.ac.jp/">http://www.oita-u.ac.jp/</a>）から振込専用ホームページ（上部メニュー「入試情報」→「入学検定料のコンビニ収納」）へアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い振込手続きを行ってください。            【振込専用URL】 <a href="https://www.oita-u.net/">https://www.oita-u.net/</a>            【携帯電話用URL】 <a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a></p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。</p> <p>振込後は、①の場合は「振替払込受付証明書（大学提出用）」を、②の場合は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を受験票下の貼付欄にはがれないようのり付けしてください。            ※手数料は本人負担です。</p> <p>出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。            （ア）入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合（返還額：30,000円）            （イ）入学検定料を誤って二重に振込んだ場合（返還額：30,000円）            ※（ア）又は（イ）に該当する場合は、8ページ「（4）入学検定料の返還請求」を参照してください。</p>
推 薦 書	<p>本要項に添付している本学所定の用紙又はパソコンで作成する場合は本学ホームページに掲載している様式（Word, A4サイズ）を使用し、出身（在学）の大学又は大学院の指導教員（指導教員に依頼できない場合は、志願者の人格、性行、研究意欲などを熟知している者（配偶者及び3親等以内の親族を除く））による志願者の人物評価を含めた推薦書（作成者が厳封したもの）を提出してください。            推薦文は、原則として日本語又は英語で作成し、一件のみ提出してください。            なお、推薦者に推薦内容について問い合わせることがあります。</p>



成績証明書	<p>出身（在学）大学長等が証明し、厳封したものを提出してください。          なお、大学に在学中の者は、出願時の成績証明書とします。          大学院修了者は、大学院の成績証明書（当該研究科長等が証明し、厳封したもの）も併せて提出してください。          日本語以外の証明書には、和訳を付けてください。          （大学が和訳の証明書を発行しない場合は、志願者本人が和訳してください。様式は問いません。）          過去に在籍した大学の成績証明書は全て提出してください。</p>
卒業（見込）証明書	<p>出身（在学）大学の卒業（見込）証明書又は大学改革支援・学位授与機構の学位の授与証明書を提出してください。          大学院修了者は、学位授与（修了見込）証明書も併せて提出してください。          （出願資格の（2）及び（3）に該当する者のみ。）</p>
在学証明書	<p>修業年限4年以上の大学において、休学期間を除き2年以上在学すること又は2年以上在学していたことを証明するもので、出身（在学）大学長等が証明したものを提出してください。          （出願資格の（1）に該当する者のみ。）</p>
現在履修中及び履修予定の単位数を明記した授業科目一覧表	<p>様式は問いません。          （出願資格の（1）に該当する者で、現に在学中の者のみ。）</p>
課題小論文	<p>大学で学んだ学問分野並びに社会活動等その他の活動（卒業後の活動も含む。）を今後どのように活かし、どのような医療人・医学研究者を目指すかを述べてください。          （本要項に添付している本学所定の様式に、自筆で横書きしてください。字数は、1,000字以内とします。また、「その他の活動」については、可能な限り活動内容及びそれを証明できるものを添付してください。ただし、3点以内とします。なお、添付する書類はA4サイズに統一してコピーしてください。）</p>
住所シール	<p>本要項に添付している住所シールに志願者の郵便番号・住所（合格通知等を受け取る場所）・氏名を必ず記入してください。</p>
返信用封筒（第1次選抜結果通知用）	<p>本要項に添付している本学所定の封筒に郵便番号・住所・氏名を記入し、362円分の切手を必ず貼ってください。</p>

## （2）出願に際しての注意事項

- ① 入学志願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- ② 課題小論文は黒のボールペンで記入し、十分に下書きをした上で清書すること。やむを得ず訂正する場合は、二重の打消し線を付してその上に記入してください。（訂正印は不要です。）
- ③ 改姓により、現在の氏名と証明書等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。
- ④ 一度受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 出願書類等に不備があるものは受付できません。（出願書類提出前に本要項添付の出願用封筒裏面の出願書類等一覧表の志願者確認欄により、出願書類等を確認してください。）
- ⑥ 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。



(3) 出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(4) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合及び入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後ただちに、次の①～④を明記した「入学検定料返還請求願」（A4サイズ、様式任意）を作成し、「振替払込受付証明書（大学提出用）」又は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を添付し、封筒の表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書きし、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受理後、返還に必要な書類を送付します。

・ 入学検定料返還請求願に記載する事項

①氏名（フリガナ）、②郵便番号及び住所、③連絡先電話番号、④返還請求理由

・ 請求期限：平成29年9月29日（金）

・ 請求先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

## 7. 個人情報の取扱い

志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学金・授業料免除（猶予）、奨学金の申請及び留学を希望した場合には、その選考資料として利用します。

## 8. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成29年7月21日（金）17時までに申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点ですみやかに申し出てください。

(2) 申出方法

本要項に添付している「平成30年度大分大学医学部医学科第2年次編入学試験受験上の配慮申請書（診断書等必要書類添付）」を提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

## 9. 熊本地震により被災した者、又は熊本地震により転学等をした者の事前相談

熊本地震により被災した入学志願者、又は熊本地震により転学等をした入学志願者で、本学の受験に際し特別な措置が必要な者及び修学上特別な配慮が必要な者は、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成29年7月21日（金）17時までに申し出てください。

(2) 申出方法

志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等から、直接又は電話により申し出てください。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

なお、熊本地震への対応に関する情報については、本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)に詳細を掲載しています。

**10. 東日本大震災により被災した者、又は東日本大震災や福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談**

東日本大震災により被災した入学志願者、又は東日本大震災や福島原子力発電所事故により転学等をした入学志願者で、本学の受験に際し特別な措置が必要な者及び修学上特別な配慮が必要な者は、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成29年7月21日(金)17時までに申し出てください。

(2) 申出方法

志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等から、直接又は電話により申し出てください。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

なお、東日本大震災に関する入試情報については、本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)に詳細を掲載しています。

**11. 入学者選抜方法**

第1次、第2次及び第3次選抜を実施し、合格者を決定します。

(1) 第1次選抜

出願書類等により書類選考を行い、募集人員の約10倍を第1次選抜の合格者とします。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対して、生命科学に関する総合問題(大学教養教育修了程度)及び英語を課し、その結果を総合判定し、募集人員の約3倍を第2次選抜の合格者とします。

期 日	試 験 科 目	試 験 時 間	試 験 場
平成29年 10月20日(金)	生命科学に関する 総 合 問 題	10:00~12:00 (120分)	大分大学医学部 (挾間キャンパス)
	英 語	13:30~15:00 (90分)	

(3) 第3次選抜

第2次選抜の合格者に対して、個人面接及び集団面接を実施し、最終合格者を決定します。

期 日	試 験 内 容	試 験 時 間	試 験 場
平成29年 11月21日(火)	個 人 面 接	9:00~17:00 (予定)	大分大学医学部 (挾間キャンパス)
	集 団 面 接		

(4) 配 点

第1次選抜	第2次選抜			第3次選抜		
書類選考	生命科学に関する総合問題	英語	合計	個人面接	集団面接	合計
100点	200点	100点	300点	150点	150点	300点

## 12. 受験に際しての注意事項

- (1) 第2次選抜の受験者は、試験開始30分前までに指定された場所に集合してください。また、試験開始後20分以上遅刻したときは、受験できません。  
なお、第3次選抜については、該当者に別途通知します。
- (2) 受験票は常に携帯し、監督者の指示に従い所定の場所に置いてください。
- (3) 試験時間中、机の上における物は、受験票、黒鉛筆（HB）、シャープペンシル（HB）、消しゴム、鉛筆削り、時計機能のみの時計（アラームを切っておくこと。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）、目薬に限ります。
- (4) 携帯電話は、必ず電源を切っておかばんの中に入れてください。
- (5) 挟間キャンパス敷地内は全面禁煙です。
- (6) 試験当日は原則として、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- (7) 試験場建物内には、付添人は立ち入ることができません。
- (8) 受験者のための宿泊施設は、本学では紹介しません。
- (9) 昼食を持参してください。
- (10) 試験時間中に医学部附属病院救命救急センターのドクターヘリによる患者緊急搬送が行われる場合があります、その離着陸の際、一時的に大きな音が発生することがあります。この場合は生活騒音として扱い、原則、試験を続行することとしていますので、予めご了承ください。

## 13. 大分大学位置図

### 大分大学医学部<sup>はさま</sup>（挟間キャンパス） ※試験会場

所在地 由布市挟間町医大ヶ丘1丁目1番地

T E L 097-586-5540, 5541

#### ◎バス利用（大分バス）

中央通り〔トキハ前2番のりば〕又はJ R大分駅府内中央口（北口）〔大分駅前4番のりば〕から

○「大学病院」行き又は「大学病院」経由を利用（約40分）、「大学病院」下車  
（詳細は時刻表で確認してください。）

### 大分大学学生支援部入試課<sup>だんのほる</sup>（旦野原キャンパス） ※入学志願書提出先

所在地 大分市大字旦野原700番地

T E L 097-554-7471

#### ◎J R利用（J R豊肥本線）

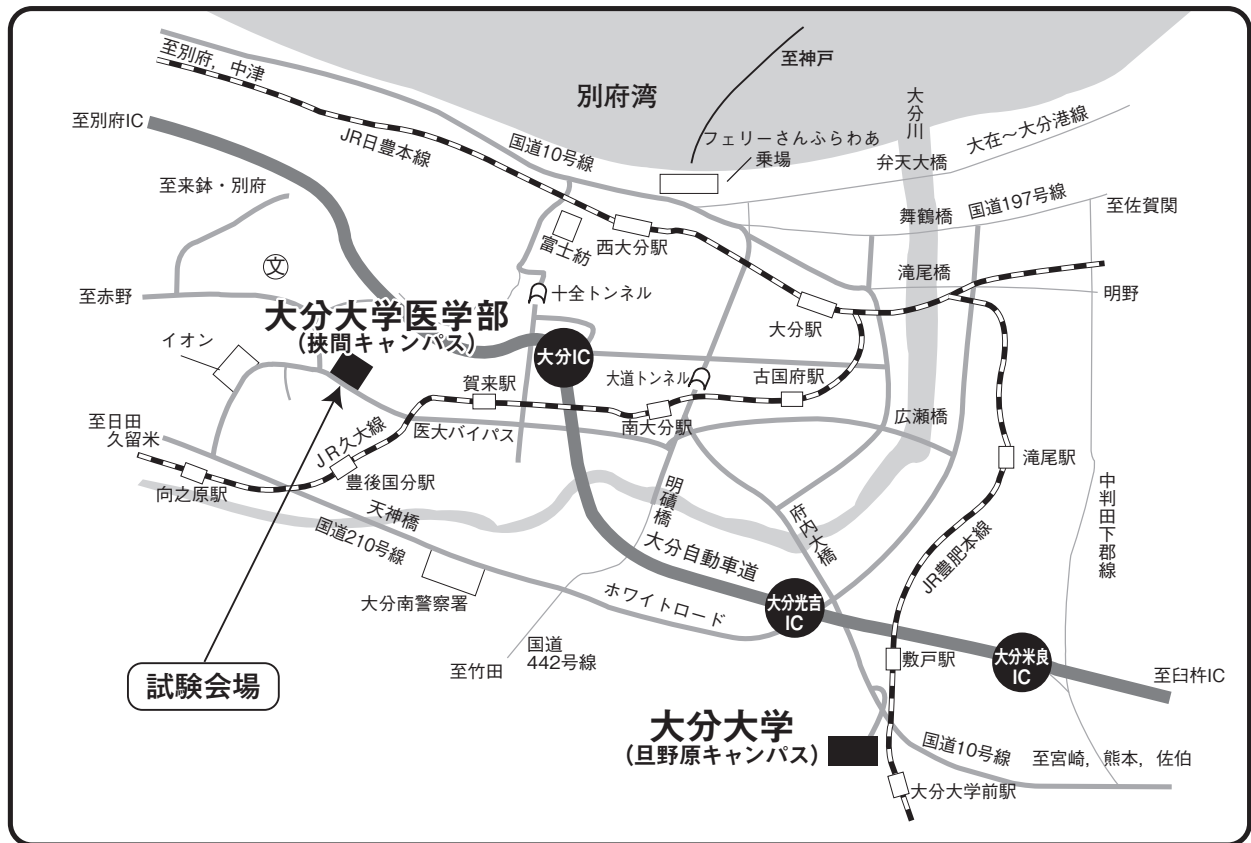
「大分大学前駅」下車（大分駅より約12分）、徒歩約10分

#### ◎バス利用（大分バス）

中央通り〔トキハ前1番のりば〕又はJ R大分駅府内中央口（北口）〔大分駅前3番又は4番のりば〕から

○「大南団地<sup>だいなん</sup>（高江ニュータウン）<sup>たかえ</sup>」行きを利用（約40分）、「大分大学」又は「大分大学正門」下車

○「戸次<sup>へつぎ</sup>、臼杵<sup>うすき</sup>、佐伯<sup>さいき</sup>」行きを利用（約40分）、「大分大学入口」下車、徒歩約10分  
（詳細は時刻表で確認してください。）



#### 14. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。
- (ア) 入学志願書、受験票、写真票又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票、写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）をすること。
  - (イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
  - (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
  - (エ) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
  - (オ) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
  - (カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
  - (キ) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
  - (ク) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
  - (ケ) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。
- (ア) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
  - (イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

- (ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (オ) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

## 15. 選抜結果の発表及び通知

### (1) 第1次選抜結果

平成29年9月22日（金）に志願者全員に選抜結果を速達郵便で通知します。

この際、第1次選抜合格者には受験票を同封します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

※第1次選抜結果及び受験票（合格者のみ）が平成29年9月29日（金）までに到着しない場合は、学生支援部入試課まで申し出てください。

### (2) 第2次選抜結果

第2次選抜合格者の発表は、平成29年11月10日（金）10時に大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）に受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「第2次選抜合格通知」を送付（同時刻に発送）します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

※第2次選抜合格通知が平成29年11月17日（金）までに到着しない場合は、学生支援部入試課まで申し出てください。

### (3) 第3次選抜結果（最終発表）

最終合格者の発表は、平成29年12月1日（金）10時に大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）に受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付（同時刻に発送）します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

## 16. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

### (1) 入学手続期間

**平成29年12月11日（月）～12月13日（水）17時まで（必着）**

※入学手続は**郵送のみ**とします。なお、期間中に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

※やむを得ない事情により郵送による入学手続ができない場合に限り、持参による入学手続を認めることがあります。その場合、事前に、学生支援部入試課（TEL 097-554-7471）に連絡してください。

### (2) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

【注1】 入学料については免除・徴収猶予・奨学融資の制度が、授業料については免除・奨学融資の制度があります。免除・徴収猶予の申請は、入学手続期間に行う必要がありますので、詳細については、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）までお問い合わせください。

【注2】 入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

【注3】 既納の入学料は返還できません。



【注4】 入学料の免除・徴収猶予を申請される方は、入学料を払い込まずに入学手続期間に申請書類を提出してください。

ただし、入学手続完了後に入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

## 17. 欠員の補充

合格者の入学辞退等により入学定員に満たない場合は、欠員の生じた枠内で追加合格により欠員の補充を行います。

ただし、次点以下の者が合格の基準点に達していないと本学が認めた場合は、追加合格を行いません。

### (1) 通知方法

**志願者本人に電話**により連絡します。

### (2) 通知開始

平成29年12月13日（水）の17時以降

## 18. 入学試験個人成績の開示

平成30年度医学科第2年次編入学試験の個人成績を、第2次選抜試験の結果のみ受験者本人に限って開示します。開示を希望する場合は、次の要領で申し込んでください。

【申込期間】平成30年5月1日（火）～平成30年5月31日（木）17時まで（必着）

※土日及び祝日は除きます。

【申込者】第2次選抜試験受験者本人に限ります。（代理人は不可）

【申込方法】次の書類等を持参又は郵送で学生支援部入試課に提出してください。

- ①入学試験個人成績開示申請書（本学入試課に直接来学するか、大分大学ホームページから印刷して入手してください。）
- ②第2年次編入学受験票のコピー
- ③写真付きの身分証明書のコピー
- ④返信用封筒（長形3号の封筒に受験者本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、392円分の切手（簡易書留郵便料金分）を貼ってください。）

【開示方法】受験者本人宛に簡易書留郵便により、受付後1か月程度で送付します。

【開示内容】第2次選抜試験の合格者には、得点を通知します。

第2次選抜試験の不合格者には、合格最低点と得点の差をランク別に通知します。

## 19. その他

本学生募集要項に明記されている期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は、大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）に対応の詳細をすみやかに掲載します。

なお、不測の事態が発生した場合の問い合わせ先は、学生支援部入試課（TEL 097-554-7471）です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。

## Ⅱ 入学案内

### 医学科の紹介

#### 1 沿革

医学部は、昭和51年10月に開学し、同53年4月に第1期の学生を受け入れ、同59年3月に第1期卒業生を送り出しました。

#### 2 教育目標

- (1) 幅広い教養と高い倫理観、責任感を備え、感性豊かな人材を育成する。
- (2) 問題発見・解決型の教育を行い、疾病予防や診断、治療方法の改善、原因や病態の解明向上に貢献でき、最新の医学知識や技術を習得するための生涯学習能力を備えた人材を育成する。
- (3) 個人の生命や健康、権利、尊厳を守り、コミュニケーション能力と協調性並びに指導力を備え、全人的医療やチーム医療の実践ができる人材を育成する。
- (4) 医療や保健・福祉の問題を理解し、広い視野から地域社会のみならず国際的にも活躍、貢献できる人材を育成する。

#### 3 特色

- (1) 本学科では、平成12年度からこれまでの教育システムを抜本的に改正し、入学後直ちに行う早期体験実習、教養・基礎教育と専門教育基礎あるいは臨床との連携・調和を強化するための節目ごとのイントロダクトリーコースの導入、また、専門教育では、臓器別、機能別のチュートリアル教育（少人数教育）やクリニカル・クラークシップ（チーム医療の一員としての臨床参加型実習）の導入を行い、常に医学に対する勉学意欲を保持し、これまでの講義中心の受身的学習から、自ら問題点を見つけ、考え、調べ、グループで討論しながら解決する自己問題解決型学習方法を取り入れました。
- (2) 平成28年度入学生からは、国際的な医学教育の基準に則ったカリキュラムの改正が行われ、入学早期からプロフェッショナルリズム教育や医学準備教育を開始し、医療倫理学や英語教育は卒業まで継続して行うようになりました。
- (3) 様々な医療ニーズに対応するため寄付講座として、日本人の生活様式に適応した新規人工関節や手術機械開発のための人工関節学講座を開設しています。
- (4) 本学の全学研究推進機構に学内の感染症の研究者を核として重点研究推進分野を設置し、アジアやカリブ地域の感染症に関する学際的研究、これらの地域との学術交流と国際医療協力の推進を行っています。平成14年から開始されたフィリピン国立感染症専門病院であるサンラザロ病院等における実習は、平成27年度から医学科6年生に実施しています。また科学技術振興機構、日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）に採択され、タイからの学部留学生を受け入れる準備を進めています。グローバルに活躍する医師の養成を目的として、医学生が国際感染症、熱帯感染症に触れる機会を多く作っています。
- (5) 4年次に基礎や臨床の研究室で研究活動を行い、その研究成果を発表する研究室配属を実施することにより、リサーチマインドの育成を図っています。
- (6) 平成22年に地域医療教育の充実のために地域医療学センターを設置し、1年次、3年次および臨床実習期間内に地域医療機関における地域医療実習を行っています。4年後期から各診療科における診療参加型臨床実習を行い、基本的臨床能力修得を目指しています。5年後期からは学生が選択した診療科や学外の医療施設で参加型実習を行う予定です。またスキルラボセンターでのシミュレーション教育も並行して行い、安全で確実な医療行為実習が出来る配慮もなされています。



#### 4 カリキュラム等

カリキュラムの概要は、以下のとおりです。

- (1) 第Ⅰ修学期（1年次）は教養教育科目，医学準備教育科目と専門基礎科目を学び，第Ⅱ修学期（2年次）には専門基礎医学を中心に学びます。
- (2) 第Ⅲ修学期（3年次～4年前期）では臓器別コースで基礎と臨床の統合した学習を行います。また研究室配属で2ヶ月間，研究に従事します。臨床実習前導入教育では，患者さん（国民）に指導医の監督下で医学生が安全な医行為を行うことが可能かどうかを評価するため，全国共通の標準評価試験（臨床実習開始前の共用試験）を実施しています。さらに医療倫理・心理学，医療安全，感染対策，医療記録，医療法規，医療経済など臨床実習に必要な社会医学教育も実施しています。
- (3) 第Ⅳ修学期（4年後期～6年次）には診療参加型臨床実習を導入し，診療を行う際の基本的能力である問題解決能力，症例呈示能力，診療録記載能力を持った医療人の養成を目指しています。さらに地域医療の現状を体験するため，診療所研修や救急車同乗実習なども実施しています。

#### カリキュラム概念図

学 年	1		2			3			4		5		6	
学 期	前	後	1	2	3	1	2	3	前	後	前	後	前	後
修学期間	Ⅰ		Ⅱ			Ⅲ			Ⅳ					
主たる 修学段階	教養教育科目 専門基礎科目		専門基礎科目						専門教育科目（臨床）					
	導入教育科目 身体・スポーツ科学科目 外国語科目 医学準備教育科目		基礎医学 病院内実習 医学準備教育科目			臓器別コース 研究室配属 臨床実習前導入教育 医学準備教育科目			臨床実地修練 診療参加型臨床実習					

## 大学生生活

### 1 入学料・授業料の免除及び徴収猶予

#### (1) 入学料の免除・徴収猶予

入学料は、次の各号のいずれかに該当すると認められる方について、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除あるいは徴収猶予を許可することがあります。

ア 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる方

イ 入学前1年以内に学資負担者が死亡した方、又は入学前1年以内に風水害等の災害を受けた方

※東日本大震災・熊本地震により被災した方には、被害状況により特別支援を行います。

#### (2) 授業料の免除

授業料は、次の各号のいずれかに該当する方について、本人の申請に基づき、選考のうえ、授業料の全額又は半額の免除を許可することがあります。申請は各学期（前学期、後学期）ごとにそれぞれ必要です。入学日に属する期の申請は、入学手続期間に受け付けます。

ア 経済的理由によって授業料の納付が困難であると認められ、かつ学業優秀と認められる方

イ 入学前1年以内に、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難な方

※東日本大震災・熊本地震により被災した方には、被害状況により特別支援を行います。

詳しくは、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）にお問い合わせください。

### 2 奨学金

日本学生支援機構の定期採用の募集は4月です。追加募集や他の奨学団体の募集は医学・病院事務部学務課の掲示板をご覧ください。

日本学生支援機構の奨学金の種類は、次のとおりです。（平成29年度採用者）

第一種奨学金 (無利子)	自宅通学者 月額 30,000円・45,000円 自宅外通学者 月額 30,000円・51,000円
第二種奨学金 (有利子)	月額 30,000円・50,000円・80,000円・ 100,000円・120,000円から選択

詳しくは、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7469）にお問い合わせください。

### 3 大分大学入学料・授業料奨学融資制度

大学が制度の利用を承認した後、学生本人が大学指定の地元金融機関から入学料や授業料の融資を受けた場合、元本返済は借入時の最短卒業見込みの時の後となり、借入時の最短卒業見込みの時までの利子を大学が負担します。この大学補給利子の返還義務はありません。また、既に納付された入学料・授業料については、本制度の利用はできません。募集は各学期の授業料免除選考結果の発表後に行います。

なお、入学料で奨学融資の制度の利用を申請する場合、入学手続時に入学料徴収猶予の申請が必要となります。

詳しくは、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）にお問い合わせください。

### 4 傷害保険

#### (1) 学生教育研究災害傷害保険

大学に学ぶ学生の被る種々の教育研究活動中の災害に対する学生の互助共済制度で、教育研究

活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって、身体に傷害を被った場合に、保険金が支払われます。条件は次のとおりです。

①保険料（医学科） 4,130円（保険期間5年分）

②支払保険額

区 分	正課中・学校行事中	課外活動中・ 学校施設内の休憩中	通学中・施設間の移動中
死亡の場合	2,000万円	1,000万円	1,000万円
後遺障害のある場合	120万円～3,000万円	60万円～1,500万円	60万円～1,500万円
医師の治療を受けた場合	3千円～30万円 (治療期間1日以上)	3万円～30万円 (治療期間14日以上)	6千円～30万円 (治療期間4日以上)

上記のほか入院時には入院加算金として、1日につき4,000円（18日を限度）が医療保険金に関係なく入院1日目から支払われます。

また、臨床実習中に針刺し事故などで感染症の病原体に予期せず接触し、感染予防措置を行った際、1事故につき15,000円が支払われます。

なお、本学部の入学生全員が、入学と同時に保険加入手続きをとることにしています。

## 5 入学後の住居等

本学挟間キャンパス内には学生寮を設置していません。下宿・アパート等の紹介（斡旋）は、大分大学生生活協同組合（TEL0120-66-8949）で行っています。

なお、現在、アパート等の部屋代は、1DKでおおむね35,000円～48,000円程度です。

## 6 通学方法

1・2年次に在学中の者及び2km以内に居住している者は、自家用自動車（自動2輪車を除く。）による通学を禁止しています。

## 7 課外活動

充実した学生生活を送るためには、勉学に励むことはもとより、課外活動を通じ、豊かな情操と健康な心身を養うことも大切です。

現在、挟間キャンパスの課外活動施設としては、体育館、武道場、弓道場、グラウンド、テニスコート、プール、課外活動共用施設があります。

また、次のような体育系、文化系のサークル及び同好会が学内外で多彩な活動を行っています。

（体育系）バスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部、卓球部、剣道部、サッカー部、ラグビー部、準硬式野球部、硬式庭球部、ワンダーフォーゲル部、ソフトボール部、水泳部、弓道部、ボードセーリング部、陸上競技部、少林寺拳法部、ソフトテニス部、ダンスサークル、アウトドアサークル、ハンドボールサークル、フットサルサークル、居合道部、NEXT BODY

（文化系）E.S.S.、軽音楽部、コーラス部、茶道部、管弦楽団、邦楽同好会、ビリヤードサークル、ALSボランティアサークルうみの会、救命サークル（Hot Line）、将棋同好会、東洋医学研究会、おおいたぬいぐるみ病院、写真サークル、IFMSA-Oita、Jazzサークル（Le Vent）、情報研究サークル（VIA）、プライマリケア勉強会、かぼすサークル、国際医療保健研究会HORIZON、パフォーマンスサークルOTIA

## 8 福利施設

日常の便宜を図るために、食堂、売店、書店、グループ学習室が設置されています。

## 入学試験に関する問い合わせ先

〒870-1192 おおいたし おおあざだんのはる 大分市大字旦野原700番地  
大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7471

FAX 097-554-7472

この募集要項の内容は、ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) にも掲載しています。